

授業科目名	【Gカリキュラム】 教養講義 (スポーツ社会学) 【EFカリキュラム】 教養講義 (スポーツ社会学)	選択	開講年次	【G】 1 【EF】 1	単位数	【G】 2 【EF】 2
科目区分	基本科目：【G】 教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】 教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】 教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】 教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	社会におけるスポーツのあり方とスポーツ文化	担当者	松宮 智生			
授業概要	<p>【概要】</p> <p>スポーツは、個人的で身体的な活動であると同時に、政治・経済・宗教・人種・ジェンダーなどと相関する文化・社会的な存在でもある。この講義では、スポーツの文化・社会的な側面を理解し、スポーツと社会との相互作用について批判的に考察していく。</p> <p>各テーマについて、小レポートの提出を求める。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ事象を通じて社会的な諸課題を抽出することができる。 2. 現代社会におけるスポーツのあり方について批判的に考察することができる。 3. 諸課題に関する文献や他者の見解に対して、自らの見解を相対化して説明することができる。 					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>授業中、適宜、資料を配布する。</p> <p>【参考書】</p> <p>特になし</p>					
授業回数	授業内容					
1	<p>オリエンテーション (授業のねらい、授業の進め方、評価方法など)。スポーツ社会学概論。社会学とはどのような学問か?</p> <p>予習：シラバスを読む。 復習：スポーツ科学の中でスポーツ社会学がどのような学問なのかを理解する。</p>					
2	<p>ダイバーシティ (多様性) とスポーツ (人種、性別、障害の有無など)</p> <p>予習：スポーツにおける人権問題を調べる。 復習：スポーツにおけるダイバーシティに関するテーマを整理する。</p>					
3	<p>障害とスポーツ (1)：マルクス・レーム (義足のロングジャンパー) がオリンピックの参加できる可能性</p> <p>予習：パラリンピックの歴史について調べる。 復習：レームのオリンピック参加について自らの見解をまとめる。</p>					
4	<p>障害とスポーツ (2)：パラリンピックにおける器具・装具とパラリンピアン の身体能力</p> <p>予習：パラリンピック種目で用いる器具・装具を調べる。 復習：義足エンジニアの意見を参考にして前回の意見を再考する。</p>					
5	<p>スポーツとジェンダー (1)：性的マイノリティのスポーツ参加 (スポーツにおける男女二分制について)</p> <p>予習：性的マイノリティについて調べる。 復習：性別を問わないオープンカテゴリーを設けた場合の利点・欠点を考える。</p>					
6	<p>スポーツとジェンダー (2)：性別確認検査をめぐる諸問題</p> <p>予習：スポーツにおける性別確認検査の歴史を調べる。 復習：スポーツにおける性別確認検査の是非について自らの見解をまとめる。</p>					
7	<p>スポーツとドーピング (1)：エンハンスメントの思想</p> <p>予習：スポーツにおけるドーピング違反の歴史を調べる。 復習：ドーピング容認派・否定派の意見を踏まえ自らの見解をまとめる。</p>					
8	<p>スポーツとドーピング (2)：身体の変更とフェアネス</p> <p>予習：スポーツにおいてアンフェアと見なされる事例を調べる。 復習：第3～8回までにおけるフェアネスに関する議論をレポートにまとめる。</p>					
9	<p>アスリートの社会貢献：プロスポーツチームやアスリートが社会貢献活動を行う理由</p> <p>予習：アスリートによる社会貢献の事例を調べる。 復習：アスリートが行う社会貢献活動が及ぼす効果についてまとめる。</p>					
10	<p>スポーツと政治・外交：ナチ・オリンピック、ミュンヘン・オリンピック事件、ピンポン外交</p> <p>予習：スポーツと政治・外交に関わる出来事を調べる。 復習：スポーツが外交に及ぼすメリットとデメリットをまとめる。</p>					
11	<p>武道の誕生：武道はいつ誕生したのか。嘉納治五郎の功績</p> <p>予習：嘉納治五郎の功績を調べる。 復習：嘉納が体育・柔道・五輪を通してやろうとしていたことをまとめる。</p>					
12	<p>運動部活動の諸問題：児童・生徒側のリスクと教員側のリスク</p> <p>予習：「ブラック部活動」の意味を調べる。 復習：運動部活動の問題点を整理し、改善案をまとめる。</p>					
13	<p>大学スポーツのありかた：ユニバス設立の趣旨・目的</p> <p>予習：ユニバス設立の経緯について調べる。 復習：本学における部活動の課題をまとめる。</p>					
14	<p>「スポーツパフォーマンス測定会」の是非。全体のまとめ。</p> <p>予習：全体のまとめ。 復習：印象に残ったテーマについて、自らの見解をレポートにまとめる。</p>					
15	<p>授業で扱ったテーマに関するフォローアップと学習到達度確認テスト</p> <p>予習：授業で取り上げたテーマに関するニュースを調べる。 復習：フォローアップの内容を踏まえて、テストにおける解答を見直す。</p>					
評価方法	成績評価方法：講義内容の理解度を見るため小レポートの提出を求める (授業2～3回につき1回程度を予定)。15回目の授業時に学習到達度確認テストを実施する。評価の配分割合は、学習到達度確認テスト50%、レポート50%。その他、授業への貢献など+α。単位認定には、全講義数の3分の2 (10回) 以上の出席を必要とする。					
評価基準	上記授業内容をよく理解し適切に表現できた者はその程度に応じ「S」または「A」、単元の内容についての理解や表現に何らかの不適切な点がある者はその程度に応じて「B」また「C」とし、単元の内容についての理解が不十分な者はその程度に応じて「D」また「E」とする。なお、学習到達度確認テスト欠席や評価不能の場合には「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】 球【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 球【-】 経【-】					